

本機の特徴 EX オペレーティングシステム

2つのチャンネル (A-ch と B-ch) を使って連絡を円滑におこなう (STR オンデマンド)

デュアル受信方式の SRFD51/SRFD55 は、A-ch と B-ch のどちらかのチャンネルが通話に使われていても、もう片方のチャンネルで通話ができますので、緊急時もスピーイで効率的な連絡を行うことができます



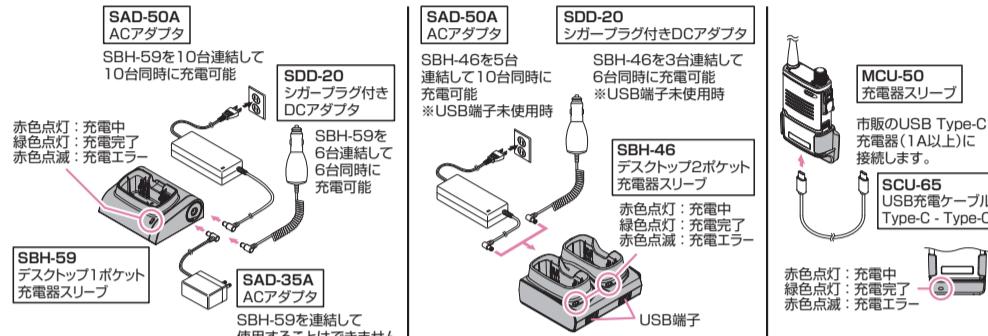
混信があってもメンバー全員がチャンネルを自動で移動 (テレポート機能)

SRFD51/SRFD55 は合計 8 チャンネル (2 つの通話チャンネル A-ch/B-ch と、6 つの予備チャンネル T1 ~ T6) の中から、2 つの通話チャンネル (A-ch と B-ch) を使って通話をし、6 つの予備チャンネルを準備しています。混信が起きたときは一人がテレポートキーを押せば、メンバー全員が混信が起きたときに予備チャンネルへ自動で移動して通話を続けることができます

現場の電波状況を分析して混信が起きたときに新しいチャンネルを準備する (エリアリサーチ機能)

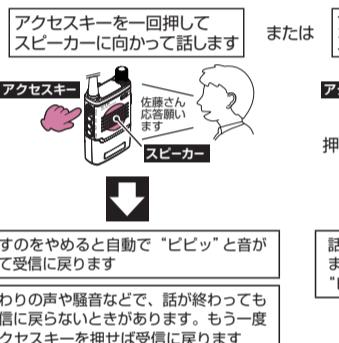
エリアリサーチ機能は、あらかじめそのエリアの電波の混み具合を分析し A-ch、B-ch、T1 ~ T6 の全てのチャンネルを混信の少ないチャンネルに設定することができます

充電をする (充電時間は約 3 時間)



● 使用可能時間 : 20 時間以上 (交互通話、送信 6 秒、受信 6 秒、待ち受け 48 秒の繰り返し運用を想定)

送信するとき



または アクセスキーを押しながらスピーカーに向かって話します

話すのをやめると自動で“ビピッ”と音がして受信に戻ります

まわりの声や騒音などで、話が終わっても受信に戻らないことがあります。もう一度アクセスキーを押せば受信に戻ります

受信するとき



ツマミをまわして聞きやすい音量に調節します

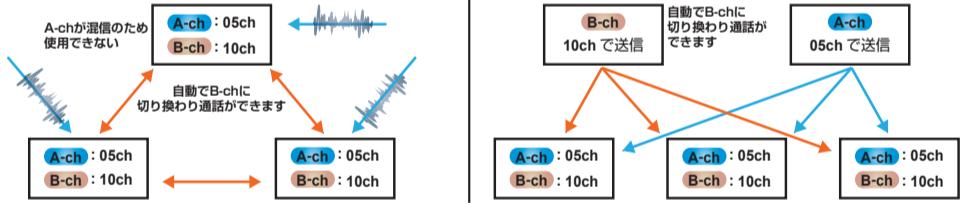
佐藤さん応答願います

話が終わったらアクセスキーをはなします“ビピッ”と音がして受信に戻ります

便利な機能

デュアル受信 (A-ch と B-ch) で連絡を円滑に行う (STR オンデマンド)

● A-ch で混信があっても B-ch で連絡が可能です
送信が自動で A-ch から B-ch へ切り替わります



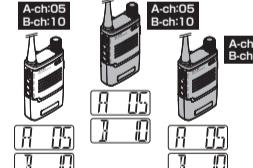
混信がある時にテレポートキーの長押しで A-ch、B-ch のチャンネルを自動で予備チャンネルに入れ替える (テレポート機能)

例: A-ch: 05 で使用中

B-ch: 10

一人がテレポートキーを長押しします

全員が混信が起きたときに新しいチャンネルで通話を開始

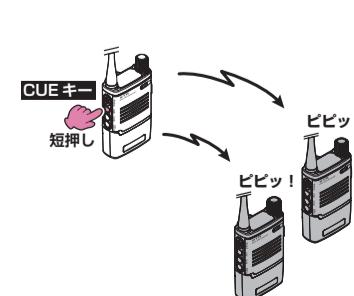


● 混信が多いときは画面に“TP”が表示され、テレポート機能を使ってチャンネルを変えることを推奨します

● テレポート機能は、中継器使用時は使用できません

CUE (キュ) 機能でメンバーに合図を送る

CUE キーを短押しすると、メンバー全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます



画面の表示を 180 度回転させる

インカムをベルトに取り付けている場合に、画面の表示を回転させて見やすくすることができます

SRFD55 の場合

▼キーを短押しします。▼キーを短押しするたびに表示が回転します

SRFD51 の場合

機能設定項目 F-24 を “DREV” に

すると画面が回転します “D on” に

すると元に戻ります

チャンネル表示を消す

チャンネル番号の表示を消すことができます

SRFD55 の場合

▼キーを長押しします。もう一度▼キーを長押しすると、チャンネル番号が表示されます

SRFD51 の場合

機能設定項目 F-24 を “D on” に

すると画面が消えます “D off” に

するとチャンネル番号が表示されます

各部の説明

アクセスキーオペレーション

送信する時に押します

ワンクリック ハンズフリーオペレーション

短押し: 送信状態になり、話をしている側はキーを押さなくても送信を続け、話をやめるまで送信を続けます

* イヤピースやスピーカーマイクを接続している時は、送信中に「ブッ…ブッ…」と音が鳴ります

* タイピングマイクを使用時に、誤って送信 / 受信が切り替わらないようにアクセスキーキを押すと受信に戻ります

機能設定項目 F-06 を “OFF” にしてください

アクセスキーキは機能設定項目 F-01 で好みに合わせて操作方法を変えることができます

受信中に 2 つの音声が同時に聞こえたときは、音声を聞きながらアクセスキーキを押すと片方の音量を調節することができます

PCA 機能

アクセスキーキを押すたびに音量が以下のようにになります



* タイピングマイクのキーでも操作できます

CUE キーの操作

構内アナウンスする

CUE キーを押しながら話すと、中継器 EXR100A や構内アナウンス用ワイヤレススピーカー PSU10 のスピーカーから音声を出すことができます。構内アナウンスで使うときはあらかじめ、機能設定項目 F-21 を “ON” にしておきます

中継器使用時に中継器を使わずに通話をする

ローカル通話機能

中継器を使用して通話をしているときでも、CUE キーを押しながら話すと近くにいるメンバーと中継器を使わずにローカル通話ができます。ローカル通話機能は、アクセスキーキを押すと中継チャンネル (A-ch) で送信、CUE キーを押すとローカル通話チャンネル (B-ch) で送信します

* 特定のメンバーだけ通話ができない場合は、そのメンバーのチャンネルが同期されていない場合がありますので、CUE キーとテレポートキーを同時に押します

テレポートキーの操作

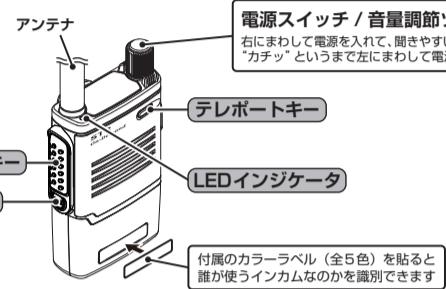
混信がある時に長押しします

メンバー全員が混信が起こりにくいチャンネルへ自動で移動します

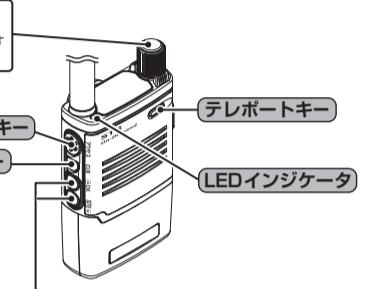
* 他のメンバーと通話ができない時は、自分のチャンネルが同期されていない場合がありますので、テレポートキーを短押しします

* 特定のメンバーだけ通話ができない場合は、そのメンバーのチャンネルが同期されていない場合がありますので、CUE キーとテレポートキーを同時に押します

SRFD51



SRFD55



チャンネルの表示



チャンネルを非表示にしている時は“A”または“B”だけが表示されます

SRFD55 でチャンネルを表示する時は、インカム側面の □ (▲▼) キーを長押しします

SRFD51 でチャンネルを表示する時は、機能設定項目 F-24 を “D on” にしてください

▲/▼キーの操作 (SRFD55のみ)

機能設定モードでは、設定項目や設定値の選択キーとして使用します

* キー 短押し: 送信チャンネルを切り替えます。送信チャンネルが使われているときにアクセスキーキを押すと自動で使われていないチャンネルで送信します

長押し: A-ch, B-ch を手動で変えることができます

* チャンネルを変えたときはエアクラ운ド他の SRFD51 / SRFD55 と新しいチャンネルを共有するか全てのインカムを手動で同じチャンネルに変えさせてください

▼キー 短押し: 画面表示を上下逆にする

長押し: チャンネル番号を非表示にします。もう一度長押しするとともに戻ります

LED インジケータ

赤点滅: 送信中
赤点滅: グループ ID およびテレポート機能設定を変更中
緑点滅: 受信中
緑点滅: 異なるグループ ID 番号の信号を受信したとき (音声はミュートになっています)

赤と緑の点滅: エリアリサーチ機能動作中
オレンジの点滅: 構内アナウンス機能送信中
個別の設定を変更中
赤の速い点滅: チャンネルが使用中で送信できないとき

バッテリーの残量表示

残量表示 (満充電時は表示されません)

表示なし
多い
少ない
(充電または交換してください)

バッテリー使用可能時間の目安 20 時間以上

単回式 (交互通話) で、送信 6 秒: 受信 6 秒: 待ち受け 48 秒の繰り返しによる運用を想定

単三型アルカリ乾電池で使う

アルカリ乾電池 3 本で使用することができます (オプションの “SBT-18” が必要です)

① フタを開けます

② 乾電池を入れてフタをしっかりと閉めます

③ カチッというまでスライドさせます

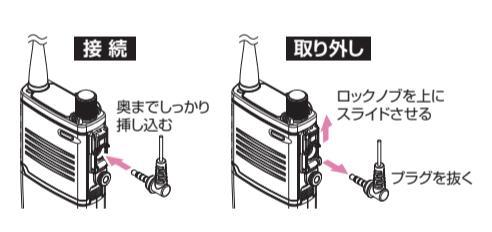
電池ケースの外しかた

② 左にスライドさせます

① ロックノブを上にスライドさせて

左にスライドさせます

タイピンマイク、イヤピースプラグの接続 / 取り外し



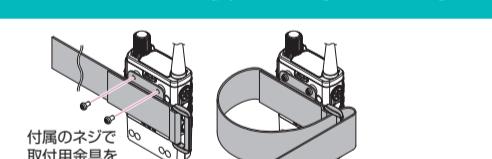
タイピンマイクやイヤピースは、当社純正オプションを使用してください。当社純正品以外のオプションによる故障や破損、事故などの損害については、弊社では一切責任を負いかねます

クイックリリースホルスターの使いかた

SBH-33 (SBR-51LI 対応)、SBH28 (SBR-42LI 対応)



アームバンドの使いかた (SHA-10)



正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻す (リセット)

CUE キーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます

▲キーを短押しして 9-RST を選択します

CUE キー 短押し (-方向) (+) 方向)

9-RST 点滅しています

SRFD55 は ▲/▼ キーでも選択できます

▲キー
▼キー

テレポートキー 長押し

工場出荷時の状態に戻ります

工場出荷時の設定ではグループ ID: 00, A-ch: 05, B-ch: 10 に設定してあります

送受信周波数 (12.5kHz ステップ)
交互通話 (単回) 422MHz 帯 (20ch)
中継通話 (半複信) 421MHz 帯 / 440MHz 帯 (27ch)

電波形式 単信方式および半複信方式

送信出力 10mW 以下 / 1mW 以下

受信感度 -15dBm/LV 以下 (@ 12dB SINAD)

低周波出力 内蔵スピーカー 700mW 以上 (@ 8 Ω, 10% 歪)

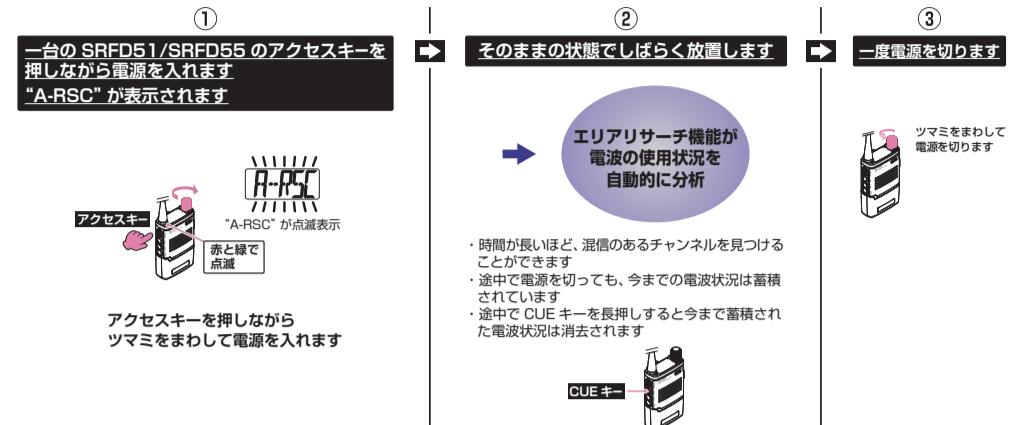
動作温度範囲 -10°C ~ +50°C

定格電圧 DC 3.6V (リチ

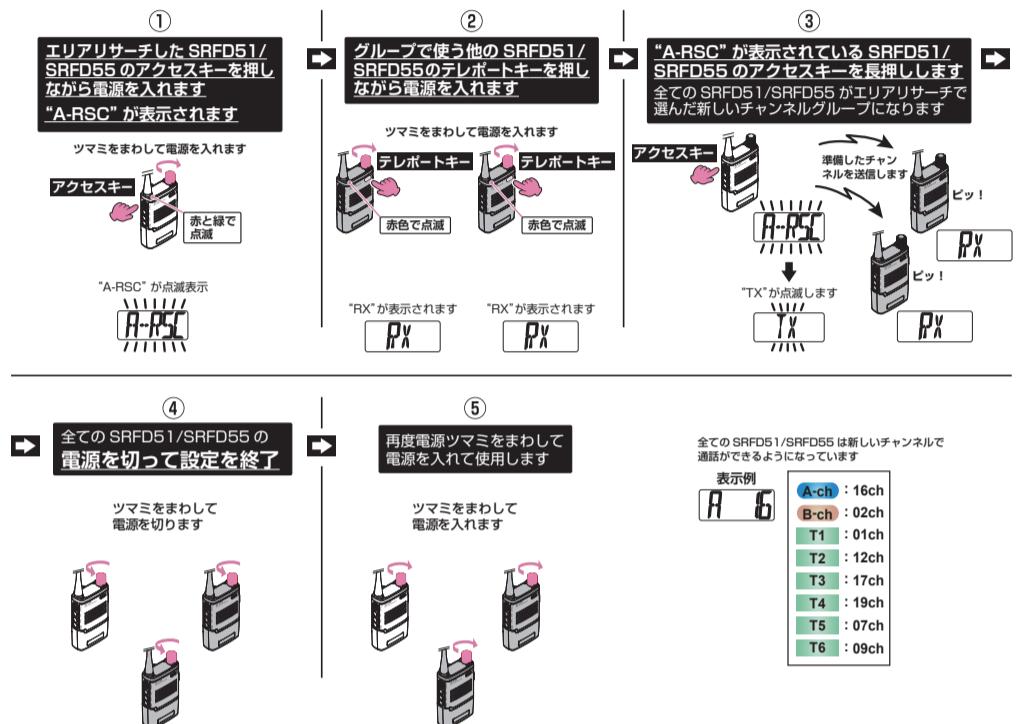
エリアリサーチ機能で準備した混信の少ないチャンネルへ移動する

エリアリサーチ機能は、全てのチャンネル（全 20 チャンネル）の電波状態を分析して、混信が起こりにくいチャンネルを準備します

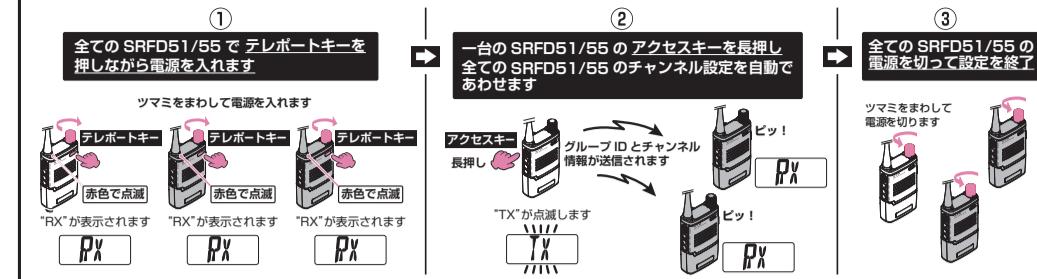
① 1台の SRFD51/SRFD55 でエリアリサーチを始める



② エリアリサーチで準備した新しいチャンネルを他の SRFD51/55 に移行する



もし通話ができないときは



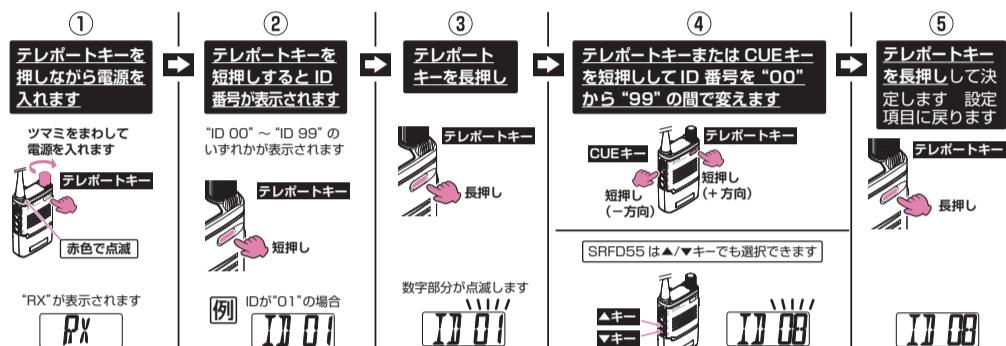
グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える

グループ ID を使えば、ID が異なる他のグループの信号は自動でミュートされます。A-ch で混信を受けても自動で B-ch で混信を感じせずに通話することができます

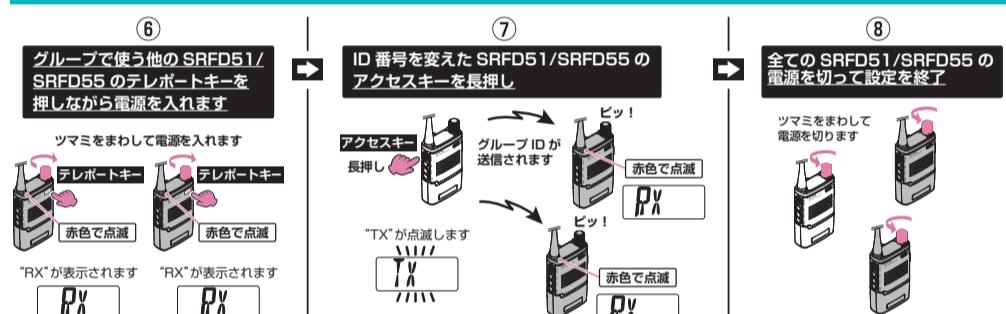


出荷時はグループ ID が "00" になっています。（他のグループの声が聞こえるような場合はグループ ID を変えてください）

1台の設定内容を変更する



他の SRFD51/SRFD55 へ変更内容をコピー（エアクローン）する



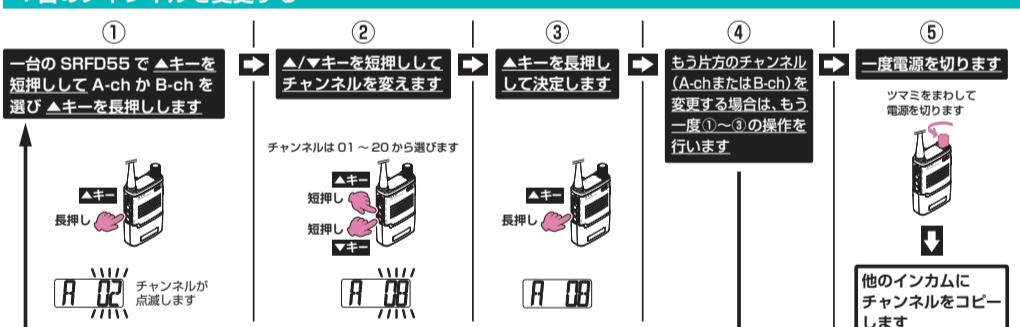
●グループ ID が違うと通話ができませんのでご注意ください

マニュアルで A-ch、B-ch のチャンネルを変える（通常は変更する必要はありません）

（チャンネルを変えた後は、他の SRFD51/SRFD55 に新しいチャンネルをコピー（エアクローン）するか個々に同じチャンネルを設定してください）

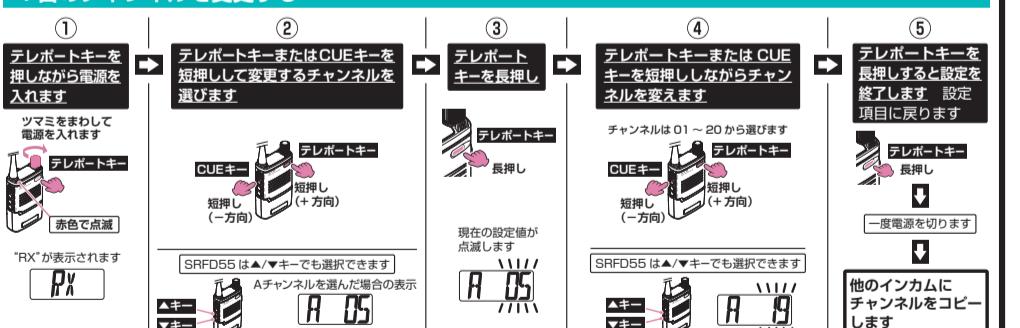
① ▲ / ▼キーで A-ch、B-ch のチャンネルを変える（SRFD55 のみ）

1台のチャンネルを変更する

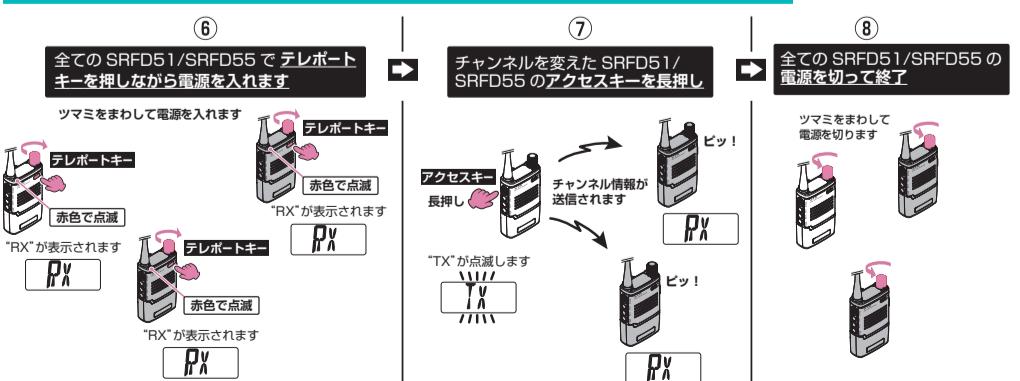


② レポート機能設定で A-ch、B-ch のチャンネルを変える（SRFD51/SRFD55）

1台のチャンネルを変更する



他の SRFD51/SRFD55 へ変更したチャンネルをコピー（エアクローン）する



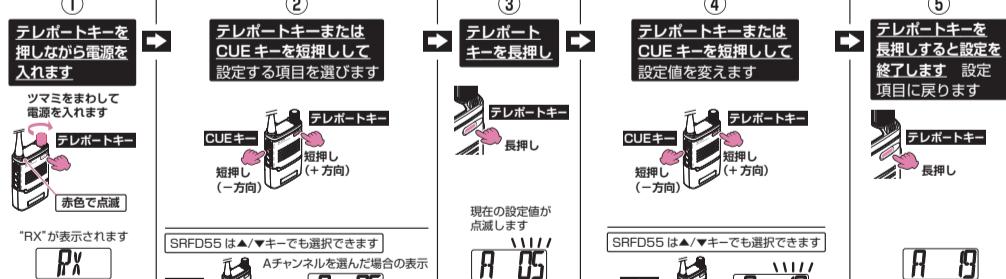
テレポート機能を変更する（通常は変更する必要はありません）

グループ ID、通話チャンネルの A-ch、B-ch、T1 ~ T6 の予備チャンネル、テレポート機能の ON/OFF を個別に変えることができます

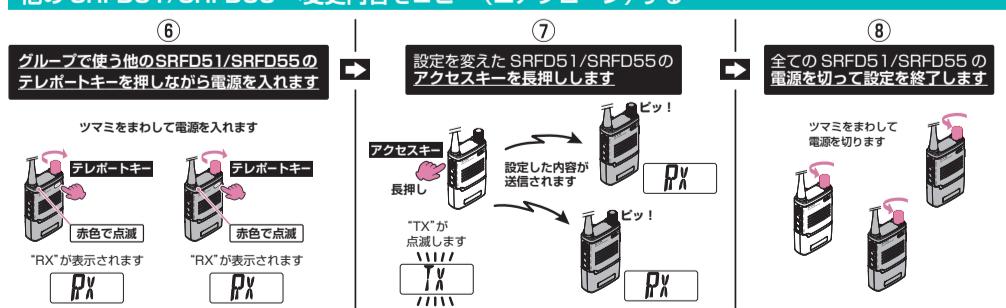
項目	出荷時の設定	機能
グループ ID	00 00	00 00 ~ 99 99 : "ID 00" ~ "ID 99" の中から選択します
A チャンネル	A 05	A 01 ~ A 20 : "01" ~ "20" の中から選択します
B チャンネル	B 01	B 01 ~ B 20 : "01" ~ "20" の中から選択します
T1 ~ T6	T1 01 ↓ T6 09	"01" ~ "20" の中から選択します
テレポート機能の ON/OFF	TP on	テレポート機能を使うことができます（通常は on で使用します）
	TP off	テレポート機能は使えますが、自分からはチャンネル移動ができません
	TP off	テレポート機能は動作しません。EX オペレーティングシステムが搭載されていないインカムとの通信ができます

1台の設定内容を変更する

グループ ID、通話チャンネルの A-ch、B-ch、T1 ~ T6 の予備チャンネル、テレポート機能の ON/OFF を個別に変えることができます



他の SRFD51/SRFD55 へ変更内容をコピー（エアクローン）する



EX オペレーティングシステムが搭載されていないインカムとの通信

1. テレポート機能の ON/OFF 設定の "TP on" を "TP off" にします
2. A-ch または B-ch を他のインカムのチャンネルにマニュアルであわせます